



第38回

北信越国民体育大会



なぎなた競技プログラム

《期間》平成29年8月27日 《場所》鯖江市スポーツ交流館

主催／(公財)日本体育協会・福井県・新潟県・石川県・富山県・長野県・福井県教育委員会・新潟県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会
長野県教育委員会・(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会・(公財)石川県体育協会・(公財)富山県体育協会・(公財)長野県体育協会

共催／会場地市町・会場地市町教育委員会 後援／スポーツ庁 主管／(公財)福井県体育協会・福井県各競技団体



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本体育協会スポーツ憲章

スポーツ精神とは、自らスポーツを行うことに意義と価値を認め、常に品位と名誉を重んじ、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適性等に応じて、主体的かつ継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことである。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目次

若い力	1	諸会議日程	8
新福井県民歌	1	競技日程	9
あいさつ	2	競技成績表	10
お祝いの言葉	3	監督・選手名簿	12
あいさつ	4	なぎなた競技の見方	13
歓迎のことば	5	過去の成績	16
競技会役員	6	競技会場案内図	17
競技役員	7	宿舎・大会本部等	18
式典次第	8		

若い力

日本体育協会選定
佐伯孝夫 作詞
高田信一 作曲

一、若い力と

燃えよ若人

感激に
胸を張れ

歓喜あふれる

ユニフォーム

肩にひとひら

花が散る

花も輝け

希望にみちて

競え青春

強き者

二、薫る英気と

瞳あかるい

純情に
スポーツマン

僕のよろこび

君のもの

挙る凱歌に

虹が立つ

友情身にしむ

熱こそいのち

競え青春

強き者

新福井県民歌

三好達治 作詞
小松長生 作曲

一 長江は野に横たはり

青海は岬にうたふ

国どころ越前若狭

たたなはる山しうるはし

二 秋の日の垂り穂ゆたかに

いや足らふ海のいろくづ

機杼の音も幸はふ

うまし国越前若狭

三 こゝにして新しき世は

ふるき世に替わりて興る

あなさやけ天つ日のもと

新墾の道はるかなり

たたなはる (重なりあって連なる) 足らふ (十分である)
いろくづ (魚のうろこ、魚) 幸はふ (豊かに栄える)
あなさやけ (とても清らかだ) 新墾 (新しく開墾する)

あ い さ つ



第38回北信越国民体育大会 会長
公益財団法人福井県体育協会 会長
福井県知事 西川 一 誠

第38回北信越国民体育大会が北信越各県から選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、福井県において盛大に開催されますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の厳しい予選を勝ち抜いた精鋭が、郷土の代表としての誇りを胸に、今年開催の「愛顔つなぐ えひめ国体」への出場権獲得をめざし、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

選手の皆様には、日ごろ鍛えた技と力を十分に発揮され、郷土の期待に応えるとともに、地域の人たちとの友情の輪を大きく広げていただき、思い出に残るすばらしい大会となりますよう祈願しております。

本県では、来年開催される第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体・障スポ」に向けて、県・市町の競技会場の整備を進めており、メイン会場となる福井運動公園では、県営体育館や県営テニス場が完成し、本年4月に供用を開始しました。さらに、県民総参加で、全国から多数の選手、役員の皆様に温かくお迎えし、心のこもったおもてなしをする準備を進めるとともに、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技を開催するなど、国民体育大会と障害者スポーツ大会の「融合」を広くアピールしていきたいと考えています。北信越各県の皆様におかれましてもご支援・ご協力をお願いします。

また、県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、豊かな自然の中で育まれた福井県の食をご堪能いただくとともに、永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡など本県の歴史や文化の魅力に触れていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にご尽力いただきました会場地の市町をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と大会の成功を祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。

お祝いの言葉



福井県議会議長 松田 泰典

第38回北信越国民体育大会が、北信越5県の代表の選手や関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを、地元 福井県議会を代表し、心からお祝い申し上げます。

皆様には、日ごろから、スポーツの振興に多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、スポーツを通して明るい社会づくりに貢献されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

本大会は、第72回国民体育大会（愛媛国体）への出場権をかけて行われ、北信越地区では最も権威のある大会であります。選手の皆様には、日ごろ鍛えられた力と技を十分に発揮され、輝かしい成果を収められることを期待しております。

福井県は、豊かな自然や歴史、多彩な伝統工芸や美しい和食文化に恵まれ、また、子どもたちの学力・体力や県民の幸福度も全国トップクラスの評価を受けております。県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、福井の魅力を満喫していただければ幸いに存じます。

来年の第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」は本県での開催となります。必要な施設や環境の整備も順調に進んでおり、県外からのお客様をお迎えする準備も、県民一丸となって盛り上げてまいります。来年、皆様方とここ福井で再びお会いできることを念願しております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた役員の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と、大会にご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



福井県なぎなた連盟

会長 田中 秀子

第38回北信越国民体育大会なぎなた大会が、福井県におきまして盛大に開催できますことは、私たち福井県なぎなた連盟にとりまして大変うれしく、皆様のお越しを心より歓迎申し上げます。

本大会は「第72回国民体育大会愛媛大会」(愛顔つなぐえひめ国体)への出場権をかけた、大切な大会であるとともに、本県なぎなた競技振興に、大きく寄与していただける伝統ある意味深い大会であります。

本県では来年、平成30年に第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」が開催されます。本県なぎなた連盟では、総力を挙げて国民体育大会の成功に向けて準備に取り組んでいるところであります。

私たちは、本大会の成功が福井国体成功への鍵であると考え、準備をすすめて参りました。

選手の皆さんには、日頃の練習の成果を十分に発揮していただき、皆さんにとりましても、本県なぎなた連盟にとりましても、意味深い、思い出多い大会になることを祈念いたします。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力いただいた関係の皆様へ、心より敬意と感謝を申し上げ、来年またお目にかかれますことを楽しみにして、ご挨拶いたします。

歓迎のことば



鯖江市長 牧野 百男

第38回北信越国民体育大会の体操競技・新体操、なぎなた競技におきまして、北信越各県から多数の選手・監督ならびに役員の皆様をお迎えし、ここに盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく市民を代表しまして心より歓迎申し上げます。

鯖江市は、6万9千余の人口を有する地方都市であります。二度にわたり体操競技の世界大会を開催するなど、世界に向け「体操のまち鯖江」として知名度をあげ、なぎなた競技におきましても、体操競技・新体操と同じく、平成30年福井国体は鯖江での開催が決まり、地元選手の気運が盛り上がってきております。加えて近年は、小中学生、高校生の陸上長距離選手の活躍により、「駅伝のまち鯖江」としても知られるようになりました。

さらに、国内シェアの約97%を占める眼鏡産地福井の中心「めがねのまち鯖江」として、また繊維王国福井の中心的地位を占める繊維産業や1500年余の歴史を持つ越前漆器など「ものづくり」のまちとして発展しております。是非とも、この機会にめがねの直売店や漆器の工房見学など、お立ち寄りいただき、楽しんでいただければ幸いです。

また、鯖江市では全ての市民がスポーツを通して豊かさを実感できるよう、生涯スポーツの振興に努めており、この大会が、関係各位のご尽力によりまして、こうして開催されますことは、生涯スポーツの振興に大いに寄与するものと感謝をいたしております。

本大会は、秋に愛媛県で開催されます第72回国民体育大会への出場選手を選抜する北信越最大の大会であります。選手の皆様におかれましては、日ごろ鍛えた力と技を遺憾なく発揮され、郷土の期待に応えるとともに、選手相互、また地域の人たちとの友情の輪を広げていただき、本大会がいつまでも皆様の心に残るすばらしい大会となりますようお願いしております。

終わりに、この大会に多大なご尽力を賜りました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、参加される皆様のご健闘と大会の成功を祈念申し上げ、挨拶いたします。

競 技 会 役 員

名 譽 会 長	牧野 百男			
会 長	田中 秀子			
副 会 長	佐藤 敬蔵	石野 和子	田中 幹夫	佐藤 浩市
顧 問	佐々木勝久	辻川 哲也	橋本 智之	
	立川厚太郎	矢口 委子	早川 邦子	上棚 直人
	新山 律子	斉藤 幸子	金田 安正	吉田 信一
	大丸 浩二	角野富久子	佐野 幸子	
参 与	菊野 孝一	田畑 雅人		
委 員 長	中嶋多喜雄			
副 委 員 長	中村 コウ	高田 成美	寺 真喜子	森本美佐子
委 員	杉本 哲栄	岩田 祐弘	大久保邦夫	川端 由紀
	玉村 桂子	島崎 智絵	渡辺 明美	堀 智美
	川崎 圭子	高島 玉恵	瀧口 愛	坂元 久代
	田中太美子	田口ミサヲ	芝田 公美	佐野 光代
	高野 由紀			

競 技 役 員

競技委員長	瀧口 愛			
総務委員長	堀 智美			
総務委員	玉村 桂子	田中太美子	児玉真由美	
審判長	森本美佐子			
審判員	我山千枝子	島崎 智絵	佐野 光代	榎本 明理
	高田 成美			
コート主任	東 仁美			
選手委員	野坂 正道	杉本 久恵		
選手補助員	山田 幸華	山森彩也香		
採点・掲示委員	三井 優紀	上坂 拓也	高島 加奈	
採点・掲示補助員	中嶋 澄花	片山 朋香		
時計委員	塚本 弘江	大森 夏子	青竹 一美	
記録委員	吉田美智代	安藤ひろ美		
記録補助員	瀧本 碧月	高島 都加		
計量委員	高島 玉恵	田中太美子		
放送委員	藤井 知代			
筆耕委員	川崎 圭子			
救 護	岩佐 佳実			
受付・案内	児玉真由美	青竹 一美		
会場委員	中山 勝裕			
会場補助委員	田邊 涼	荒木 香織		

式典次第

【開始式】

期日 平成29年8月27日（日）

時間 9時00分

場所 鯖江市スポーツ交流館

【表彰式】

期日 平成29年8月27日（日）

時間 競技終了後

場所 鯖江市スポーツ交流館

次 第

- 1 開式通告
- 2 選手入場
- 3 開会宣言
- 4 国歌斉唱
- 5 若い力斉唱
- 6 会長あいさつ
- 7 歓迎のことば
- 8 来賓あいさつ
- 9 競技上の注意
- 10 選手宣誓
- 11 閉式通告
- 12 選手退場

次 第

- 1 役員、選手集合整列
- 2 開式通告
- 3 成績発表
- 4 表 彰
- 5 あいさつ
- 6 閉会宣言
- 7 閉式通告
- 8 選手退場

諸会議日程

会議名	期 日	時 間	場 所	電 話 番 号
用具検定	8月26日（土）	午後3時30分～	鯖江市スポーツ交流館 競技アリーナ	0778-53-0369
監督会議	8月26日（土）	午後4時～	鯖江市スポーツ交流館 スポーツ資料室	0778-53-0369
審判会議	8月26日（土）	午後4時30分～	鯖江市スポーツ交流館 スポーツ資料室	0778-53-0369

競 技 日 程

開会式 平成29年8月27日(日) 9時00分～ 鯖江市スポーツ交流館

少年女子リーグ戦

	1 福井県	2 新潟県	3 石川県	4 富山県	5 長野県	勝者	勝者数	総本数	順位
1 福井県									
2 新潟県									
3 石川県									
4 富山県									
5 長野県									

第72回国民体育大会 北信越ブロック代表者数 3

第1試合 2-5

第2試合 3-4

第3試合 1-5

第4試合 2-3

第5試合 1-4

第6試合 5-3

第7試合 1-3

第8試合 4-2

第9試合 1-2

第10試合 4-5

表彰式 平成29年8月27日(日) 競技終了後 鯖江市スポーツ交流館

競技成績表

第1試合

県名	先鋒	中堅	大将	勝者数	勝本数	勝負
新潟県	五十嵐 杏樹	石塚 季夏子	川勝 琉里			
長野県						
	高澤 萌愛	山中 明日香	山口 乃愛			

第2試合

県名	先鋒	中堅	大将	勝者数	勝本数	勝負
石川県	久木 祐奈	榎田 飛鳥	中村 綾里			
富山県						
	吉田 幸穂	内河 なつき	林 舞香			

第3試合

県名	先鋒	中堅	大将	勝者数	勝本数	勝負
福井県	山崎 莉奈	織田 千尋	瀧口 麻衣			
長野県						
	高澤 萌愛	山中 明日香	山口 乃愛			

第4試合

県名	先鋒	中堅	大将	勝者数	勝本数	勝負
新潟県	五十嵐 杏樹	石塚 季夏子	川勝 琉里			
石川県						
	久木 祐奈	榎田 飛鳥	中村 綾里			

第5試合

県名	先鋒	中堅	大将	勝者数	勝本数	勝負
福井県	山崎 莉奈	織田 千尋	瀧口 麻衣			
富山県						
	吉田 幸穂	内河 なつき	林 舞香			

第6試合

県名	先鋒			中堅			大将			勝者数	勝本数	勝負
長野県	高澤 萌愛			山中 明日香			山口 乃愛					
石川県												
	久木 祐奈			榊田 飛鳥			中村 綾里					

第7試合

県名	先鋒			中堅			大将			勝者数	勝本数	勝負
福井県	山崎 莉奈			織田 千尋			瀧口 麻衣					
石川県												
	久木 祐奈			榊田 飛鳥			中村 綾里					

第8試合

県名	先鋒			中堅			大将			勝者数	勝本数	勝負
富山県	吉田 幸穂			内河 なつき			林 舞香					
新潟県												
	五十嵐 杏樹			石塚 季夏子			川勝 琉里					

第9試合

県名	先鋒			中堅			大将			勝者数	勝本数	勝負
福井県	山崎 莉奈			織田 千尋			瀧口 麻衣					
新潟県												
	五十嵐 杏樹			石塚 季夏子			川勝 琉里					

第10試合

県名	先鋒			中堅			大将			勝者数	勝本数	勝負
富山県	吉田 幸穂			内河 なつき			林 舞香					
長野県												
	高澤 萌愛			山中 明日香			山口 乃愛					

監督・選手名簿

少年女子

新潟県	氏名	段位	所属
監督	倉金 友里	四段	立川メディカルセンター悠遊健康村病院
先鋒	五十嵐 杏樹	1級	県立新潟東高等学校
中堅	石塚 季夏子	初段	県立柏崎常盤高等学校
大将	川勝 琉里	初段	県立新潟東高等学校

石川県	氏名	段位	所属
監督	赤倉 和子	練士	石川県立津幡高等学校(教)
先鋒	久木 祐奈	1級	石川県立羽咋高等学校
中堅	榎田 飛鳥	初段	石川県立津幡高等学校
大将	中村 綾里	二段	石川県立羽咋高等学校

富山県	氏名	段位	所属
監督	堀 桂子	五段	南砺市役所
先鋒	吉田 幸穂	1級	富山県立高岡工芸高等学校
中堅	内河 なつき	初段	富山県立南砺福野高等学校
大将	林 舞香	初段	富山県立南砺福光高等学校

長野県	氏名	段位	所属
監督	落合 仁美	五段	キッセイ薬品工業(株)塩尻工業
先鋒	高澤 萌愛	初段	学校法人松商学園松商学園高等学校
中堅	山中 明日香	初段	長野県伊那北高校
大将	山口 乃愛	初段	学校法人松商学園松商学園高等学校

福井県	氏名	段位	所属
監督	渡辺 明美	練士	福井県なぎなた連盟
先鋒	山崎 莉奈	二段	福井県立羽水高等学校
中堅	織田 千尋	二段	福井県立羽水高等学校
大将	瀧口 麻衣	二段	福井県立羽水高等学校

なぎなた競技の見方

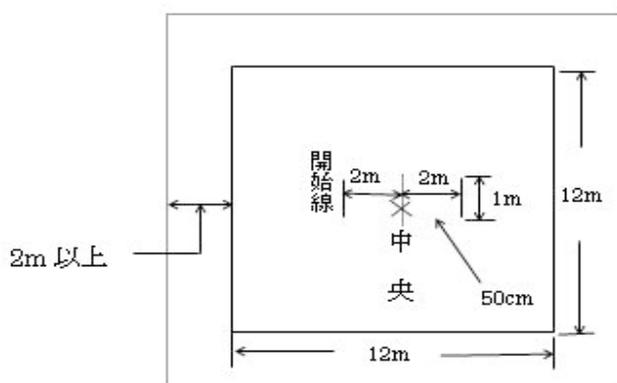
なぎなた競技には、「試合」と「演技」の2つがあります。試合競技は、防具を身につけ、定められた部位を互いに打突して勝負を競います。また、演技競技は、防具を身につけず、指定された形を対人で行ってその技を競います。

1. 試合競技

2人の試合者が、定められた部位(面部、小手部、胴部、脛部、)を、確実に早く打突して勝負を競います。技は、振りあげ、持ちかえ、振り返して左右からあらゆる方向へ打つことができます。敏速な動きの中から打突の機会を見出し、全力をあげて技を競い合います。相手に対して、よい間合いからタイミングよく技を出すことが勝利に結びつきます。

(1) 試合場

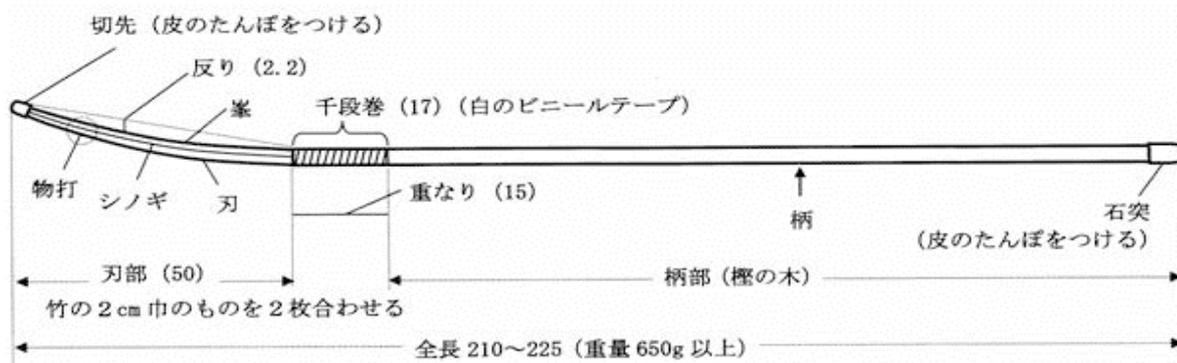
コートのはさは12メートル四方です。



開始線は中央より2m
開始線長さ1m
中央の×印線長さ50cm

(2) 用具

なぎなたは、次のような長さ、重量及び材質のものを使います。



(3) 試合の方法

3本勝負が原則で、試合時間内に有効打突を2本先取した方が勝ちとなります。ただし、所定の本数に達しない時は、1本先取した方を勝ちとします。

(4) 有効打突

有効打突とは、なぎなたの打突部で打突部位を、充実した氣勢と適法な姿勢とをもって、打突部位を呼称しながら確実に打突し、残心のあるものをいいます。

- 物打(切先から 15cm 位)が正確に打突部位に到達していること。
 - 打突時に姿勢が正しく理にかなった動作であること。
 - 打突の機会がよいこと。
 - 気魄に満ち、打ったあと残心があること。
 - やや軽くとも追い込んだ際の打突、あるいは追い込まれた時に加えたもつとも確実な打突。
- これらの条件を満たしている打突が有効と認められます。

(5)打突部位となぎなたの打突部



打突部位	なぎなたの打突部
面部—正面(中央) 左右側面 (中央から 25° ~30° の間)	切先より 15cm~20cm のところ(物打)
小手部—左右小手 (甲側の手首から 5cm のところ)	切先より 15cm~20cm のところ(物打)
胴部—左右胴	切先より 15cm~20cm のところ(物打)
すね部—左右すね 左右内すね (膝とくるぶしの間)	切先より 15cm~20cm のところ(物打)および柄 (石突より 20cm~25cm のところ) (柄打ちのすねは高校生以下は禁じられている)
咽喉部—咽喉部の位置	切先(高校生以下は禁じられている)

(6)勝負の判定

審判員は3名で、2人以上の審判員が打突を有効と認めた時、1本となります。審判員は、両手に赤、白の審判旗を持ち、有効と認めた時はその方の旗を斜め上にあげ、認めない時は両方の旗を前下で振って意志の表示をします。審判員の判定に対して、異議の申し立てはできません。

(7)反則の主なもの

片足の全部が場外に出た時、倒れて体の一部が場外に出た時は反則になります。また、なぎなたの柄部で相手の面を打ったり、なぎなたを落としたりした時も反則です。また、これらの反則を1試合中に2回重ねると相手に1本を与えます。

(8)判定表示の方法

審判の判定は、次のように表示されます。

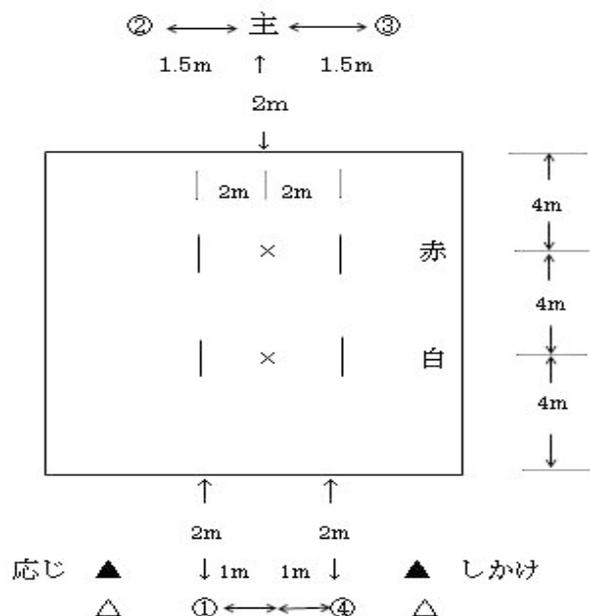
- 面……………メ ○脛……………ス ○小手……………コ ○胴……………ド ○突き……………ツ
- 反則……………△ ○反則1本…反(2回した場合) ○判定……………判 ○不戦勝……………○○

2 演技競技

演技競技は、全日本なぎなた連盟のしかけ応じ8本の中から定められた3本を、2人1組の演技者によって行い、その技の優劣を競い合います。なぎなたの技の向上をはかるとともに、正しいなぎなたの普及、発展を目的として行われる競技です。

(1)演技場

コートは12m四方で、このコート内で赤、白2組の演技者によって技を競います。



(2)観点

演技の判定基準となるものは、演技者双方の姿勢、服装、態度、発声、呼吸と気持ちが調和しているか、打突部位を正確に気魄に満ちた打突をしているか、残心、間合、手の内、着眼等理合にかなった技であるか、見る人に感動を与えたかなどの点です。

(3)勝敗

5名の審判員が赤、白の旗を持ち、良い(勝ち)と思う方の旗を斜め上にあげて意思を表示し、過半数をもって勝敗を決定します。

過去の成績

	開催地	優勝	第2位	第3位
第30回	石川県	石川県	富山県	福井県
第31回	富山県	石川県	富山県	新潟県
第32回	長野県	石川県	新潟県	富山県
第33回	福井県	新潟県	石川県	富山県
第34回	新潟県	石川県	長野県	福井県
第35回	石川県	石川県	長野県	福井県
第36回	富山県	石川県	福井県	富山県
第37回	長野県	石川県	福井県	富山県

競技会場案内図



〒910-0045 鯖江市宮前2丁目9-1

TEL 0778-53-0369

宿 舎 一 覧 表

県 名	宿 舎 名	所 在 地	電 話
新 潟	ホテルルートイン鯖江	〒916-0038 鯖江市下河端町14-1-1	0778-51-5002
石 川	エースイン福井	〒910-0006 福井市中央3-4-20	0776-26-0011
富 山	ホテルルートイン鯖江	〒916-0038 鯖江市下河端町14-1-1	0778-51-5002
長 野	エースイン福井	〒910-0006 福井市中央3-4-20	0776-26-0011

競技会本部・記録本部

鯖江市スポーツ交流館

〒910-0045 鯖江市宮前2丁目9-1
記録責任者 瀧口 愛
電話 090-2034-6851

救 急 指 定 病 院

木村病院

鯖江市旭町4-4-9
0778-51-0478

大 会 本 部

第38回北信越国民体育大会実行委員会事務局
福井市福町 3-20 公益財団法人福井県体育協会内
TEL 0776-34-2719 FAX 0776-34-2742

